

新技術・新工法

登録番号	19031	<p><未処理のAs舗装端部断面></p> <p>縁石 水 2%</p> <p>アスファルト混合物の場合、舗装時のAs混合物の温度低下等により隙間が生じ、水の通り道を形成しやすい。道路橋において防水層の上部に滞水した場合、舗装との接着不良を招き路面の変位・クラックなどの損傷に繋がる。</p> <p><処理後の断面></p> <p>縁石 水 2% トップコート レベリング アスコン</p> <p>レベリング材はアスファルト合材の性状にあったリサイクル可能な流動性の高い材料です。トップコート材は水性ナノR・H塗料でMMA樹脂以上の耐久性、弾力性がある環境に優しい水性塗料を使用しています。</p>
新技術名	ブリッジガード	
副題	道路橋 端部表面塗布型防水工法	
従来技術名	—	
活用区分	—	
新技術等の区分	工法	
新技術等の分野	品質・出来形、環境、県産資材活用	
NETIS番号	QS-190019-A	
問い合わせ先	株式会社アマケンテック 0969-76-1711	

概要	従来は橋梁舗装端部への高弾性成型目地材等を施していたのに対して、本技術は道路橋舗装面において地覆コンクリートと舗装との境界隙間からの雨水侵入をレベリング材(流動性及び防水性の高い材料)と、トップコート材(水性防水塗料)を塗布することにより抑制し、耐久性の向上を計る技術工法である。
特徴	橋梁の舗装端部から侵入する降雨水を遮断する工法である。
適用可能な箇所	<p>自然条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候不良(降雨、路面湿潤時)の場合は、施工を避ける ・低温(5℃以下)での施工は品質低下をまねく可能性があるため施工を避ける <p>現場条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業スペースとして縁石より1m程度必要 <p>技術提供可能地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国
施工単位等	新技術 1,064,745円/300m